

角田市総合教育会議 会議要旨

会 議 名	令和6年度 第1回角田市総合教育会議
開 催 場 所	角田市役所 第2委員会室
開 催 日 時	令和6年12月12日（木）午後2時30分～午後3時25分
出 席 者	13名（別紙のとおり）
事 務 局	総務部企画デジタル課
<p>（次 第）</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 開会あいさつ（市長）</p> <p>3. 協 議</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）角田市こども計画の骨子について</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）教育支援センター機能の充実について</p> <p style="padding-left: 20px;">（3）教育振興基金の創設について</p> <p style="padding-left: 20px;">（4）角田市学校の適正規模等に関する基本構想「第3次行動計画構想」の具体化に向けた取り組みについて（中間とりまとめ）</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会あいさつ（教育長）</p> <p>6. 閉 会</p>	
<p>（会議要旨）</p> <p>3 協 議</p> <p>（1）角田市こども計画の骨子について</p> <p style="padding-left: 20px;">説明者：黒須市長、子育て支援課長</p> <p style="padding-left: 20px;">説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。（説明要旨省略）</p> <p>協議要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いいことだと感じる。就学時健診だけでは子どもの特性が把握できないと感じていて、学校の先生とも連携しながら実施していくことで子どもたちもより良い形で小学校1年生に入っていけるのではないかと思う。 ・ 5歳児健診を近隣自治体に先駆けて取り組むことは大変素晴らしいことだと思う。小学校入学前から保護者との繋がることで、早い段階で子どもたちの特性を把握し支援に繋げ、保護者の不安解消や不登校児童生徒の防止にもつながると良いと思う。 ・ 5歳児健診は具体的にはどのような健診、検査を行う予定なのか。 <p>→ 普段の集団での様子などを観察したり、保護者へ問診票を記入してもらい保健師が相談等の対応をする。事前に幼稚園や保育所等からも子どもの様子について伺うことを考えている。先生にも問診票を回答していただき、保護者とも共有できればと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、保育所を訪問して行うのか。 <p>→ 総合保健福祉センター（ウエルパーク）に集まっただき実施する。保育所等の施設毎に</p>	

実施していくことを考えている。

- ・ 5歳児健診や今の子どもたちの居場所のこともそうだが、対象となる方たちが知らないということが大きいのではないかと考えている。情報発信と相談支援体制の充実というところを工夫することが子どもたちにもいいと思うので対応をよろしくお願ひしたい。

(2) 教育支援センター機能の充実について

説明者：永井教育長

説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。(説明要旨省略)

協議要旨

- ・ ケアハウスはどの自治体でも実施しているようだが、いち早く支援センター機能を充実させていくというのはいいことだと思う。不登校の内容を見ると家庭の中での問題も多いように感じる。子供に教えるだけが大切なことではないと感じている。
- 地域の関連部局も含めて問題が生じた場合などは部局を超えて連携会議のようなものができるような体制にしていきたいと考えている。
- ・ 支援センター機能を充実させても、その情報まで保護者がたどり着かないと、役に立たない。周知するためにはホームページの活用が有効だと思っているが、角田市のホームページを見ても相談窓口までたどり着けない。また、教育総務課にも子育て支援課にも相談窓口があったときにすみ分けしたほうがいいのか、あえてすみ分けせずどちらにも相談できるようにした方がいいのか今後検討が必要だと感じている。
 - ・ 相談窓口で相談するのもいいことだが、できれば同じ世代で子育てをしている人たちに相談できるようなサークルのようなものがあつた方が同じ経験をしている人同士で相談し合えるのではないかと感じる。
- 不登校の児童生徒の保護者から集まりたいという話があるので深めていきたいと思っている。しかし、抱えている悩みが大きければ大きいほど周りに言いづらいところもあり、何らかの方法で協力していきたいと考えている。

(3) 教育振興基金の創設について

説明者：永井教育長

説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。(説明要旨省略)

協議要旨

- ・ いい形になったと思っている。これまでスポーツ振興基金だけだったが、今回の基金の用途には休日の地域クラブ活動への移行も含まれており、スポーツと学校の関係が包括されたという点ではわかりやすくなったという気がしている。今回新たに教育振興基金を充当する事業がしっかり行われれば、角田市の特徴が出てくると思う。期待している。

- ・基金の主だった財源はふるさと納税を考えている。ふるさと納税のプロジェクトの柱があるが、その中に教育分野もある。ふるさと納税の使途の「見える化」をしながら進めていきたいと考えている。

(4) 角田市学校の適正規模等に関する基本構想「第3次行動計画構想」の具体化に向けた取り組みについて（中間とりまとめ）

説明者：永井教育長

説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。（説明要旨省略）

協議要旨

- ・非常に丁寧に進めているという印象を持っている。以前は統合に反対の意見が多かったように感じるが最近はそのような意見があまり出てこない。見通しが持てているから地域の方々からの理解が得やすかったのではないかと感じている。丁寧に進めていただければ計画に沿ってやっていけると思うのでよろしくお願ひしたい。

令和6年度第1回角田市総合教育会議出席者名簿

○会議構成員（4名出席）

市長	黒須 貫
[教育委員会]	
教育長	永井 哲
教育委員会委員	大内 啓邦
教育委員会委員	平山 一恵

○事務局関係（10名）

教育次長兼教育総務課長	齋藤 修
企画デジタル課長	木村 信幸
子育て支援課長	水戸 理恵
生涯学習課長	堀米 直江
教育総務課子ども支援専門監	磯村 直美
教育総務課課長補佐	目黒 知子
子育て支援課技術補佐	小島 洋子
子育て支援課母子保健係長	猪瀬 麻実
企画デジタル課課長補佐	大沼 寿宏
企画デジタル課主査	菊地 浩文

（敬称略・順不同）